

2010年9月号

Vol. 10

発行者／財団法人千葉県文化振興財団 理事長 佐久間 豊
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp ホームページ <http://www.cbs.or.jp/>



まだまだ続く、財団設立25周年記念事業 ～西本智実 with ミッシャ・マイルスキー & ラトビア国立交響楽団～

財団法人千葉県文化振興財団設立25周年記念事業。皆さまお楽しみいただいておりますでしょうか。

「中村紘子デビュー50周年ピアノ・リサイタル」は、満席のお客さまをお迎えし、5曲のアンコールが行われるなど、大変盛況な演奏会でした。また、「親子 de オペラ鑑賞デビュー」や「いと・たけ～子どもたちに伝えたい日本の響き～」では、舞台セットをアーティストと一緒に制作したり、和楽器の演奏体験を通じ、子どもから大人までが生の文化芸術に触れ、楽しいひとときを過ごしていただきました。

記念事業は、まだまだ盛りだくさんでお贈りいたしますが、その中でも、「西本智実 with ミッシャ・マイルスキー & ラトビア国立交響楽団」は、今年の9月1日に外国人として初めて、ロシア国立交響楽団の指揮者に就任された西本智実さんが出演する、大変注目度の高い演奏会です。

世界の舞台で活躍されている指揮者の西本智実さんが、音楽に興味を持つようになったきっかけは、4歳のときに見たボリジョイバレエの「白鳥の湖」だそうです。

その曲が、指揮者によって違うことを知った西本さんは指揮者というものにとっても興味を持ち、将来の夢は「指揮者になること」と小学校の卒業文集に書かれたとのこと。

「指揮台の魔術師」と呼ばれ、オーケストラの魅力を最大限に引き出すと言われている華麗な姿をぜひこの機会にご覧ください。

公演に先駆けて、西本智実さんからお祝いのメッセージをいただきました。

財団法人千葉県文化振興財団設立25周年おめでとうございます。
四半世紀の間、育まれてきたものの中で、今年出演させて頂けます
ことを光栄に思っています。

私は、ロシアから指揮者の道を出発し、ヨーロッパを進み、大西洋を
越え、今秋アメリカに進出します。

皆様と会場でお会いする時は、アメリカ公演の後ですので、会場では
私なりの“世界一周”で歩いて来た道をお届けしたいと思っています。
皆様と同じ空間の中で“時”を共有できることを楽しみにしております。

西本智実



©宅間國博

〔西本智実 with ミッシャ・マイルスキー & ラトビア国立交響楽団 12月1日(水) 19:00開演 千葉県文化会館・大ホール〕

西本智実さんがテレビ朝日系列「徹子の部屋」(10/15放送)に出演される予定です。

今回の演奏会で共演する世界屈指のチェリスト、ミッシャ・マイルスキーとその母国を代表するオーケストラであるラトビア国立交響楽団のことについても、楽しいお話が聞けるとお思いますので、どうぞお見逃しなく!!!

お知らせ

ホームページが新しくなりました!!

今まで以上に各ホールの情報がわかりやすくなりました。県内のイベントが
ご覧・検索いただける「イベントカレンダー」と一緒に「お気に入り」に
登録してご利用ください。 <http://www.cbs.or.jp/>



お問い合わせは、財団法人千葉県文化振興財団 TEL 043-222-0077 まで

◆◆◆ ホールインフォメーション ◆◆◆

12/11(土)

レニングラード国立バレエ「くるみ割り人形」

千葉県文化会館

「オケピ」のはなし。

「オーケストラピット」というものを御存知でしょうか？オーケストラピットは「オケピ」とも呼ばれ、オペラやバレエの際にオーケストラが生演奏する場所として舞台の一番前に設置されています。

客席の最前列から数列を取り外してオケピとして利用する劇場もありますが、千葉県文化会館のオケピは、通常舞台として利用されている張り出しの部分、ストンと中に落ち込む形で作られています。今回そんなオケピを使って演じられるのは、170年余の歴史を持つレニングラード国立バレエによる楽しくて美しい聖夜のファンタジー「くるみ割り人形」。舞台上の華やかな衣装も必見ですが、このような舞台装置を気にかけてみるのも新しい発見があるかも知れませんね。



レニングラード国立バレエ「くるみ割り人形」12月11日(土) 15:00開演 千葉県文化会館
電話 043-222-0201

11/14(日)

30回記念公演「青葉能」

青葉の森公園芸術文化ホール

「紅葉狩 鬼揃」

30回を記念する今年の演目は、二十六世観世宗家 観世清和氏による「紅葉狩 鬼揃」をお送りします。

この演目の見どころは、何ととっても観世流にしかない「鬼揃」の演出です。

公演チラシなどの表記を見るとこの「鬼揃」の文字が少し小さく書かれていますが、これは「小書(こがき)」といい、特殊演出のことを指します。

では、何が違うのか。通常の「紅葉狩」では、鬼神(きじん)が登場しますが、観世流の「紅葉狩 鬼揃」は、鬼神が複数の鬼女(きじょ)を引き連れて登場します。

しかも、登場するだけでなく、舞台上で妖艶さと美しさを兼ね備えた迫力満点の舞いを繰り広げ、印象深い舞台を創り上げます。

他の流派では、見るできないこの演目。ぜひお見逃しなく!!!



©前島吉裕

30回記念公演「青葉能」11月14日(日) 15:00開演 青葉の森公園芸術文化ホール
電話 043-266-3511

12/23(木・祝)

15回記念公演「東総の第九2010」

千葉県東総文化会館

「第九を聴かなければ、新年が迎えられない!!」

「第九」ファンの皆さま、お待たせいたしました。

15回目となる今回の「第九」は、曾我大介さんを指揮に迎え、豪華ソリストと県内各地から集まった第九ファンのもと、更にグレードアップしたアニバーサリーに相応しい公演を開催します。

また、地域で活躍するオーケストラの協力を得て、今回特別に「東総第九オーケストラ」を結成し、記念公演を盛り上げます。

ベートーヴェンを愛する皆様、年末はぜひ千葉県東総文化会館へ足を運んで、あの感動を分かち合いましょ!!



15回記念公演「東総の第九2010」12月23日(木・祝) 15:30開演 千葉県東総文化会館
電話 0479-64-2001

アウトリーチ事業って、な～に？

コンサートが行われる場所というと・・・、真っ先に思い浮かぶのが文化ホールだと思います。しかし、中にはいろいろな事情でホールまでお越しいただけない方もいらっしゃると思います。

そこで、当財団では様々なアウトリーチ事業を行っております。「アウトリーチ」とは「出前」のようなもので、普段芸術や文化に触れる機会の少ない方々のもとに直接伺って、演奏などをお楽しみいただく訪問コンサートのことです。

年齢制限などにより文化ホールでのコンサートを聴くことができないお子様にも本格的な素晴らしい音楽を体験してもらおうと、小編成のオーケストラで県内幼稚園を訪問する「幼児芸術鑑賞教室」や、介護施設や病院を訪問し、楽器の演奏や声楽家による歌などの芸術文化に触れる機会を提供する「ふれあいコンサート」を行い、心に響く素敵な音楽をお届けしております。

編集後記

千葉県文化会館のある亥鼻山の周辺では毎年9月ごろになると真っ赤な彼岸花がたくさん花を咲かせます。有毒の植物である所為でしょうか、日本では忌み嫌われることも多い花ですが、ある秋の日突然現れる赤い絨毯には思わず息を飲む美しさがあります。春の桜、晩夏の彼岸花に冬の初めの銀杏・・・劇場に向かう道すがらに見るその季節ならではの風景も、舞台を楽しむ1つのエッセンスかもしれません。気がつけばもう今年も残りを数える方が早くなってしまいました。一年は本当にあっという間ですが、財団25周年の記念事業はまだまだ盛り沢山！皆様お誘い合わせの上、ぜひ足をお運び下さい！